



令和6年度 11月5日号 校長 江田 慶久

秋 真っ盛り!

学校行事も地域の行事も真っ盛り!

11/9 地域資源物回収お世話になります!

☆ホームページと重複しますが、今月号も行事紹介(主に10月)を中心に、学校だよりをお届けします。

< 4年 宿泊学習 >

10/10~10/11の1泊2日で、4年生22名が以下の要領で、宿泊学習に行ってきました。

1. めあて

- (1) 自然に親しみ、みかも山の魅力を発見しよう。
- (2) 時間を守り、進んで行動し、友達と協力して生活しよう。

2. 宿泊場所

栃木 JIMINIE 倶楽部 自然の家みかも

3. おもな活動内容

<10/10> 学校から歩いて、みかも山へ!
フラワートレイン、わんぱく公園(自由活動・昼食)

入所式後「杉板焼き」

入浴・夕食後「キャンプファイヤー」

<10/11> みかも山ハイキング、昼食後退所式

///江田も同行しました///

まず、みかも山に向かう途中、新里の何軒かのおうちの方から「行ってらっしゃい(∇▽∇)」とお声掛けをいただいて大変ありがたい気持ちになりました。また、「おうちの人から離れて外泊することが初めて」という子もいて、少しだけ緊張感が伝わってきました。4年生と2日間寝食を共にできて、貴重な思い出ができました。

ぜひ、ホームページもご覧ください。(∇▽∇)/

宿泊学習の翌週、学校で絵付けをして完成させた「杉板焼」は、世界に1つしかない大切な宝物になりましたね。



三谷自然を守る会によるコスモス畑 (10/21 撮影)

<10/16 ハッピー子育て講座>

1・2年生の保護者を対象に、栃木市教育委員会生涯学習課進行による「ハッピー子育て講座」が、下記の要領で開催されました。(親子事業終了後)

1. 演題

いつの間にか なっているダメ親 からの脱出

2. 講師 元栃木市学校教育支援専門員

元栃木第三小学校長 大塚幸一先生

3. 講師紹介～生涯学習課レジュメより～

大塚先生は、教育者として子どもたちの心身の育成に携わる傍ら、書家としての活動にも長年取り組んでおり、著名な書道の大家として多くの人に親しまれ、認められています。また、「山本有三」の研究者でもあり、山本有三記念会では会長を務めておられます。

「山本有三記念会」

山本有三の生涯にわたる業績をたたえ、その精神を人づくりに活かし、文化の薫り高いまちづくりに貢献することを目的として、子どもたちの読書教育の推進、朗読フェスティバルの開催等、多方面にわたる事業に取り組んでいる。

///江田も同席しました///

大塚先生のお話を記録しましたのでご参照ください。

礼節 礼儀 節度 凡事徹底 「弁える(わきまえる)」ということを守っていないだろうか?

子育てはノンブライズ(無報酬) 面倒がらない 大変なやりがい 終わりはないが区切りはある

言うことを聞かない この人の言うことなら言うことを聞くという人になりたい(魅力ある人)

だらだらしない やるときはやる けじめ 「過と可」

「過」過保護 「可」～べし～べき

バイアス(おもいこみ)がきゅうくつに

「優」→甘える 「厳」→虐待 自分の子どもにチャン付けをする親(よそ様との会話の中でも)

「民族滅亡の三原則」①理想を失った民族 ②全てを物の価値に捉えて、心の価値や豊かさを忘れた民族

③自国の歴史を忘れた民族

「子は親の鏡」ドロシー・ロー・ノルト

☆これを読んでいただいただけでも、なんとなく講話の内容が伝わるのではないかと思います。当日配付された資料は、1・2年生の保護者の方々がご持ちです。見せていただくとよいと思います。多変参考になります。永久保存版です。

<10/15~10/25 読書週間>

「読書週間を通して、児童の読書への関心を一層深め、すすんで本を読む態度を育てる。」を目標に読書週間がもたれました。内容は、以下のとおりです。

1. うちどく 19~20日に、全児童がうちどくをする。
2. 朗読集会 15日(業間) 読み聞かせ集会
講師 栃木市の朗読を楽しむ会代表茂呂久美子さん
作品「きつねのぱん と ねこのぱん」「くもの糸」
3. しおり展示
全校生がしおりを作る。展示後、スタンプラリーの景品にする。
4. スタンプラリー
1冊借りる毎にスタンプ1つ。読書週間に5冊クリアできたら全校生が創ったしおりをプレゼントする。
5. 読書感想文の発表
青少年読書感想文コンクールに応募した作品を、代表児童3名が給食時に放送で発表する。
6. 図書委員による本の読み聞かせ
朝の読書の時間に、図書委員が各教室に行って、読み聞かせをする。(2日間)
7. としよつだよりの発行
各家庭に読書週間の周知をする。

今秋、どれだけ、本に親しめましたか？
読書週間が良いきっかけになれば幸いです。



【地域の行事紹介】

<10/18 6年 認知症サポーター講座>

岩舟我が事丸ごと事業 **小野寺北協議体**

○小野寺北協議体資料より

私たちは認知症になっても「当たり前」に暮らせる小野寺北を作りたい。

- ・老いても共に幸せに、自分らしく暮らせるように。
- ・世代を超えた「支え合い」が地域の宝であるように。
- ・このふるさとでは、いつまでも安全に安心して暮らせるように。

○6年生は、食事をしたことを忘れてしまったおじいちゃんへの対応の仕方を、北協議体の皆さんの寸劇を見ながら考え、認知症について認識を新たにしました。

<10/20 わがまるスポーツ交流会>

岩舟我が事丸ごと事業 **小野寺南協議体**

○秋の爽やかな空気に包まれながら、元気な笑い声が校庭中に響き渡りました。

○スタッフ24名(岩舟社会福祉協議会・南協議体)による運営のもと、40名を超える参加者(小野寺小児童13名)が、7名の中学生ボランティアと共に、モルック、グランドゴルフ、スポーツ吹き矢、カローリングなどを楽しみました。最後には、おいしいうどんがふるまわれました。とても清々しい1日になりました。

【福祉教育出前授業】

10/28(月)の3~4校時、6年生を対象にして、福祉教育出前授業「地域のお宝発見隊!!」が開催されました。これは、栃木市社会福祉協議会の「重層的支援体制整備事業」として、大人になっても、誰もが住み慣れた地域でつながり、支え合えるような地域づくりを目的にしています。

その目的に迫るため、今回も多くの地域住民の方々に来校していただき、地域の魅力や住民活動の状況について教えていただきました。

<ご協力いただいた方々> 敬称略

岩舟地域自治会連合会長/小野寺ふれあい会長/さくら会の方々/つくし会の方々/地域コーディネーター/学校運営協議会員/岩舟町子ども会育成会連合協議会長/岩舟地区民生委員児童委員協議会の方々/三谷地域の自然を守る会・円仁合唱団長/小野寺北協議体リーダー/小野寺南協議体リーダー/会社経営者



今月号は、本校が、まさに「地域と共にある学校」であるということを実感できる内容になりました。学校が、多くの方々に支えられながら成り立っている。そして、それが地域全体の well-being につながる。「地域人材」をあえて「地域人財」と書くことがあるそうです。地域にとって「人」は「財産」そして「子」は「宝」小野寺で、今まで以上に強く感じる事ができました。

上記出前授業の地域の方々との熟議中、「東山道」「例幣使街道」というお話が耳に入ってきました。まだまだ、教えていただくこと・知っておくべきことがたくさんありそうです。それだけ、魅力に満ちた小野寺ということですね。☆ホームページには、1・2年生の校外学習をはじめとして、おのでらっ子の笑顔がいっぱいです!どうぞ、ごらんください(^v^)/